

令和3年11月愛知県議会 福祉医療委員会（12月16日）

「新型コロナワクチン3回目接種について」

問1. 神戸

今月から、市町村において医療従事者から3回目接種が開始されています。県に於いても1月下旬から2月上旬にかけて、名古屋空港ターミナルビル、藤田医科大学など、県内6カ所に大規模集団接種会場を開設するとのことでした。

3回目接種の実施にあたっては、1・2回目接種の時と同時に、接種による不反応を心配される県民の方が少なくないと思われます。私の周りの方々でも、接種後に副反応が出たという話を聞きました。たいていの方は、熱・痛み等で1日か2日で回復され大丈夫だったようですが、それを聞いて、接種を受ける次の日に予測をして休みを取る人もいたと聞きました。

また全国的にみて、かなり症状が重い方もみえるようで、3回目接種に対して不安な声が聞こえるのも確かです。しかし、感染予防のためには3回目接種を推奨することは不可欠と考えます。そのためには接種後に副反応の症状が生じた県民の方をサポートしていくことが、3回目接種を進めていくうえで、重要なカギとなると思います。

そこで伺います。県として、3回目接種における副反応への相談体制について、どのように取り組んでいかれるのか、県の考えをお聞かせください。

答1. ワクチン接種体制整備室長答弁

1・2回目の接種においては、大学病院をはじめとする10カ所の専門的な医療機関の協力を得て、接種後の副反応に関する専門相談窓口を設置し、かかりつけ医など身近な医療機関では対応が困難な副反応への相談対応や、必要に応じて治療を行える体制を敷いてまいりました。

また、感染症対策局内に看護師による電話相談窓口を設置し、接種後に副反応が疑われる症状を生じた県民の方からの相談にも対応してまいりました。

3回目接種においても同様の体制を維持し、県民の方からよせられる副反応に関する相談に対して、きめ細やかに対応してまいります。

要望. 神戸

3回目接種に向けて、副反応への取り組みがしっかり行われることがよくわかりました。他県においては、接種後の体調不良を訴えても、病院をたらい回しにされたり、なかなか症状が治らないといった事例もあるようです。そうするとワクチン接種への不安を抱くあまり、3回目接種を迷う人もいるかもしれません。ワクチン接種に対して反対意見もある中で、安心して接種が受けることが出来るよう、接種後の副反応に丁寧に対応することを要望して質問を終わります。